

経営比較分析表（平成30年度決算）

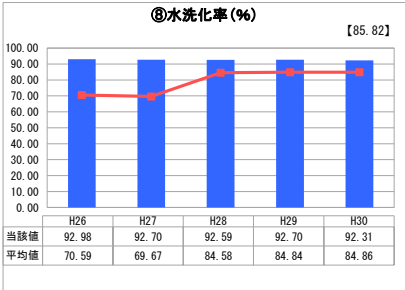
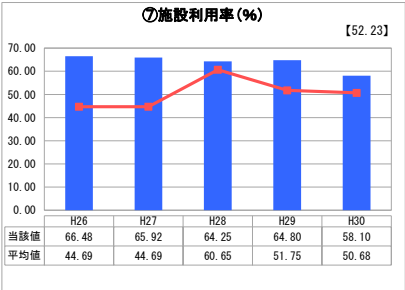
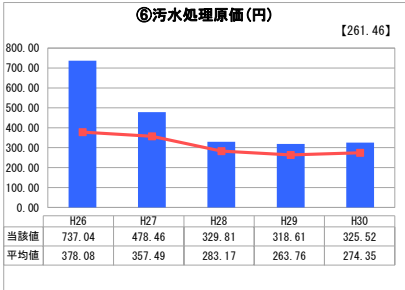
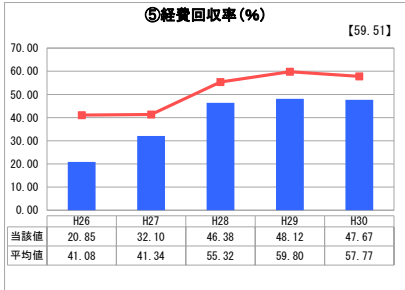
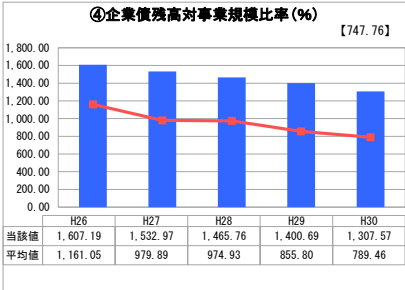
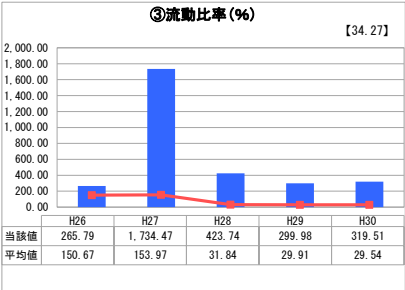
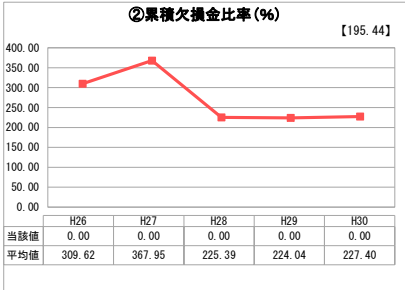
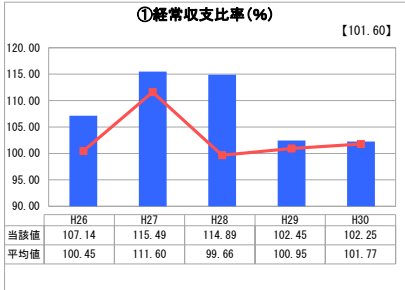
埼玉県 日高市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	84.27	1.00	98.52	2,710

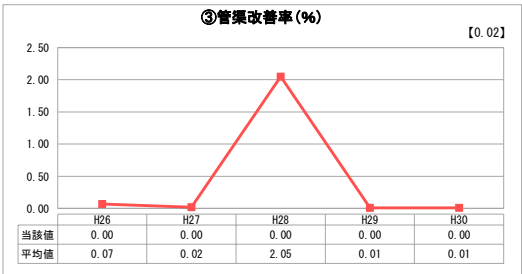
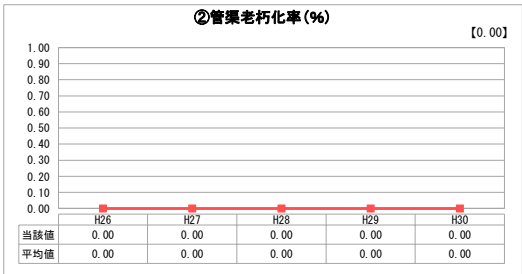
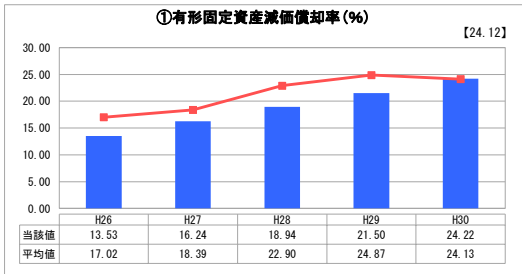
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
56,066	47.48	1,180.83
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
559	0.24	2,329.17

■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収支は黒字が続いているが、一般会計からの繰入金により収支不足を補填している状況です。
②累積欠損金は発生していないが、一般会計繰入金により収支不足を補填している状況です。
③当該値は100%をこえているため安定しているといえますが、一般会計からの繰入金に依存している状況となっています。
④処理区域内人口密度が低い地域において施設整備を行ったため、比率は高く負担が重くなっています。現時点では新規投資がないことから比率が少しずつ低くなっています。しかし、今後老朽化施設の更新時期が到来すると新規投資が生じることになるため、水洗化率の向上に努め使用料収入の確保に努めます。
⑤水洗化率の向上に努め使用料収入を確保し、かつ、維持管理費の節減に努めていきます。
⑥当該値が平均値と比較して高くなっている理由は④と同様です。今後も維持管理費の縮減に努めていきます。
⑦当該値は、平均値を上回っていることから効率的に施設が利用されているといえます。
⑧当該値は高い水準にあります。100パーセントを目指し、引き続き普及促進に努めていきます。

2. 老朽化の状況について

①農業集落排水事業は、平成13年度に供用開始し、17年が経過したところで施設の老朽度は低い。
②法定耐用年数を経過した管渠はないが、点検等を実施し現況確認を行い、適切な維持管理に努めます。
③実績がないため比率は生じていません。今後発生する管渠の改善にあたっては、更生工事等工法を検討し、費用対効果を検証したうえで実施します。

全体総括

平成30年度末における日高市農業集落排水事業の経営状況は、収支が継続して黒字であり、累積欠損金も生じておらず、翌年度の支払資金も確保されていることから安定しているといえますが、これは一般会計からの繰入金により収支不足の補填を行っているためです。
農業集落排水事業は、処理区域内人口密度が低い地域において施設整備を行っているため、汚水処理原価は割高なものとなっています。
これを全て使用料収入により賄うことは、利用者の負担が過度なものとなる恐れがあるため困難な状況です。処理費用の縮減のため、公共下水道への接続等、広域化・共同化について検討を行ってまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。